

2008年11月4日

WHO神戸センター 所長殿

お問い合わせ先について

薬害オンブズパースン・タイアップグループ仙台支部 支部長 小野寺 信 一  
同 上 会員（フッ素問題検討班・班長）加 藤 純 二

ご回答の送付について

### 質 問 書

ご回答は、下記の薬害オンブズパースン・タイアップグループ仙台支部事務局までお送り下  
前略

突然お手紙を差し上げて申し訳ございません。

私は、薬害防止活動を行っている薬害オンブズパースン会議の支部組織「薬害オンブズパースン・タイアップグループ仙台支部」の代表をしている者ですが、本支部では、活動の一つとして虫歯予防のためのフッ素応用について「フッ素班」を作り、その有害性や必要性、有害性などについて情報の収集・検討・問題提起を行っております。

貴センターは、ホームページによれば、「WHOは本部と6つの地域事務所、2つの研究センターからなり、2つの研究センターのうちの一つ」と記載されていますが、先日、下記の学術講演会が開催されたことと思います。

平成20年9月27日（土）18:00～19:30

場所：サンパレスホテル（静岡市駿河区南町11-29）

講師：瀧口徹（WHO神戸センター渉外担当官）・元厚生省歯科保健課長

演題：歯科保健の現状と課題－フッ化物応用の普及を目指して－

主催：静岡県子どもの歯を守る会

申込：榎田歯科医院（榎田中外）FAX0548-22-5580

E-mail: hokai@062mb.inetsh.nag.jp

つきましては、上記の講演会について下記のとおり質問をさせていただきますので、お忙しいところ恐縮ですが、本質問書が届きましてから1ヶ月以内に文書で御回答いただければ幸いです。

なお、本件に関してお問い合わせ等ございましたら、別紙の連絡先までお願い致します。

1) 今回、瀧口徹氏元厚生省歯科保健課長が貴組織の渉外担当官と紹介されています。瀧口氏は2004年09月29日の新聞報道によれば、厚生労働省を汚職によって停職処分された方ではないでしょうか。氏の採用時、WHO神戸センターの職員採用にあたっては、募集は公募だったのでしょうか。

2) 採用にあたって、瀧口氏の履歴書には停職処分のことが記載されていたのでしょうか。

またそうであれば、停職処分・辞職された方を公的かつ国際的な組織の役職になぜ採用したのでしょうか。

以 上